

No.21 キーワード：側条施肥、無人ヘリ

(株)ヴァンベール平出 長野県大町市

基本情報

- ・ 気候：内陸性気候
- ・ 土質：砂壤土
- ・ 従事人数：4人
- ・ 臨時雇用：2人＋シルバー4人
- ・ 飼料用米の作付開始：H27年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	10.8ha	30a
主食用米(直播)	2.8ha	40a
飼料用米(移植)	1.2ha	13a
酒造好適米	17.2ha	30a
麦類	5.0ha	—
大豆	3.0ha	—
そば	28.0ha	—



無人ヘリ

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 価格が安定している酒造好適米を増加、また、酒造好適米の契約栽培による収益の確保も実施し、今後うるち米も検討
- ・ 収量は10俵/10a、品質は全量1等を目標
- ・ 資材コスト低減のため、大ロットでの購入で割引制度のある業者選定を実施
- ・ まずは水稲50haを目標、将来的には若い従業員1人当たり30haを担当させたい

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- ・ 肥料
 - ① 大ロット購入により、単価を下げ、コスト低減
 - ② 元肥は全て側条施肥により省力化し、土壌改良剤、けい酸質肥料等は1年おきの施用により、地力を維持
- ・ 農薬
 - ① 種子消毒は微生物農薬(タフブロック)を使用←処理後のヌメリの課題があり、他の微生物農薬も検討
 - ② 除草剤の効果を発揮できるように、レベラー等を使用し、水田の均平化を図ることで水深を一定化
- ・ 農業機械
 - ① 無人ヘリを3戸共同で所有し、除草剤、殺虫殺菌剤の散布を効率化
 - ② 自社での点検、オイル・クリーナー等の交換を定期的に行い修繕費を抑制
- ・ その他
疎植可能品種は37～50株/坪移植とし、苗箱枚数を削減することで種苗費を抑制

導入効果

- ・ 施肥
肥料費▲約1割
労働時間▲約1割
(従前の栽培との比較)
- ・ 防除
農薬費▲約1割
労働時間▲約5割
(従前の栽培との比較)

課題・今後の目標

- ・ 平成28年から土壌分析を実施し、必要成分をブレンドした独自肥料の使用を検討
- ・ 直播栽培の除草が課題となっており、水管理、使用除草剤の検討
- ・ 斑点米が多くカラムシ対策を検討

支援体制

- ・ 普及センター、JA(農業技術、機械)、試験場等からの情報に加え、農機具メーカー、農薬メーカーからも直接情報を入手
- ・ 品種試験を始め、機械、農薬等の試験にも協力